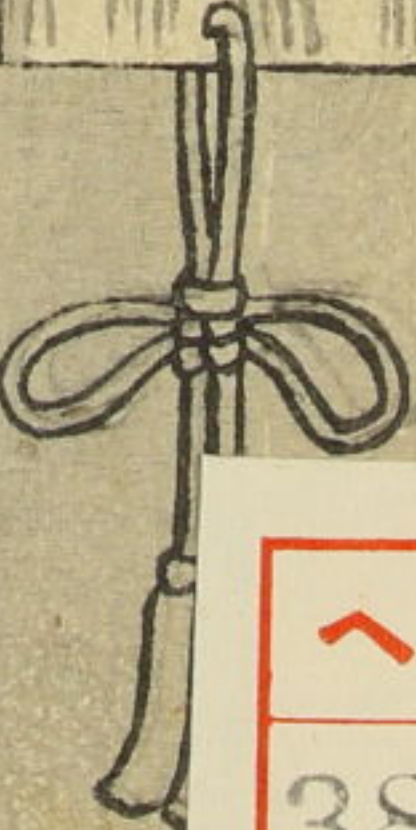
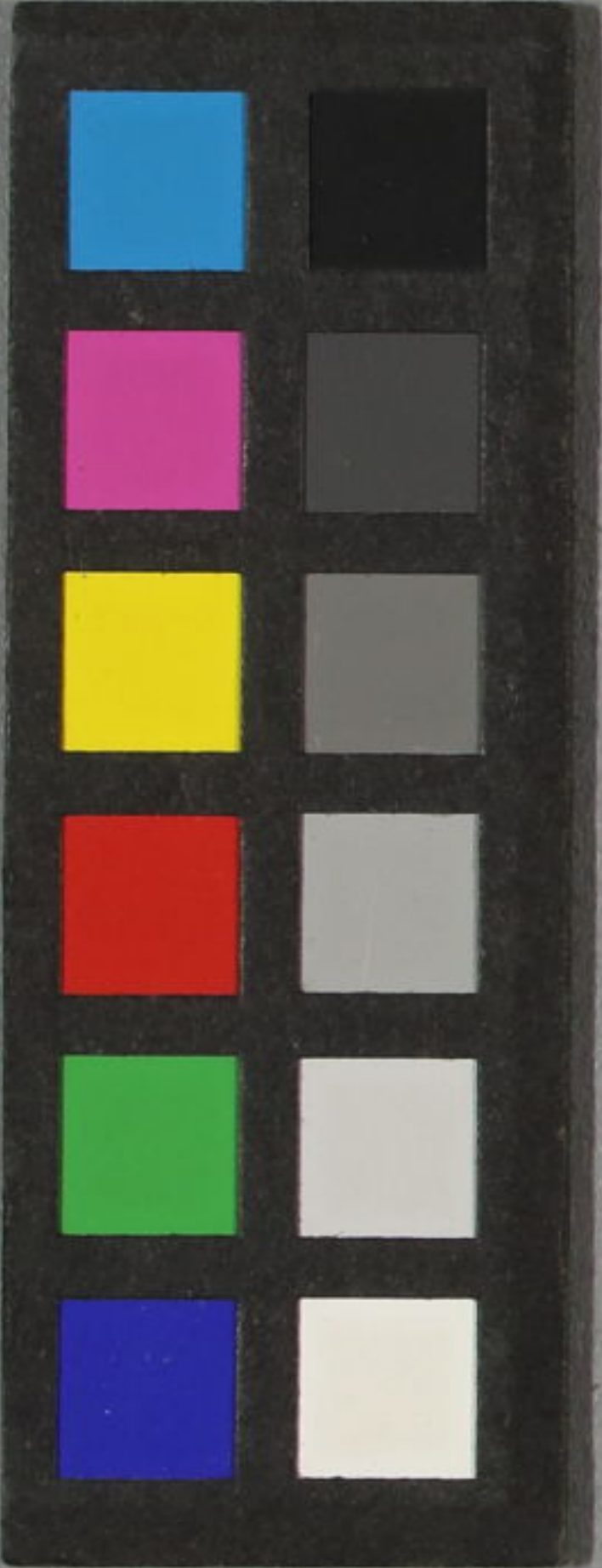


○  
錦堂新梓  
新堂錦林

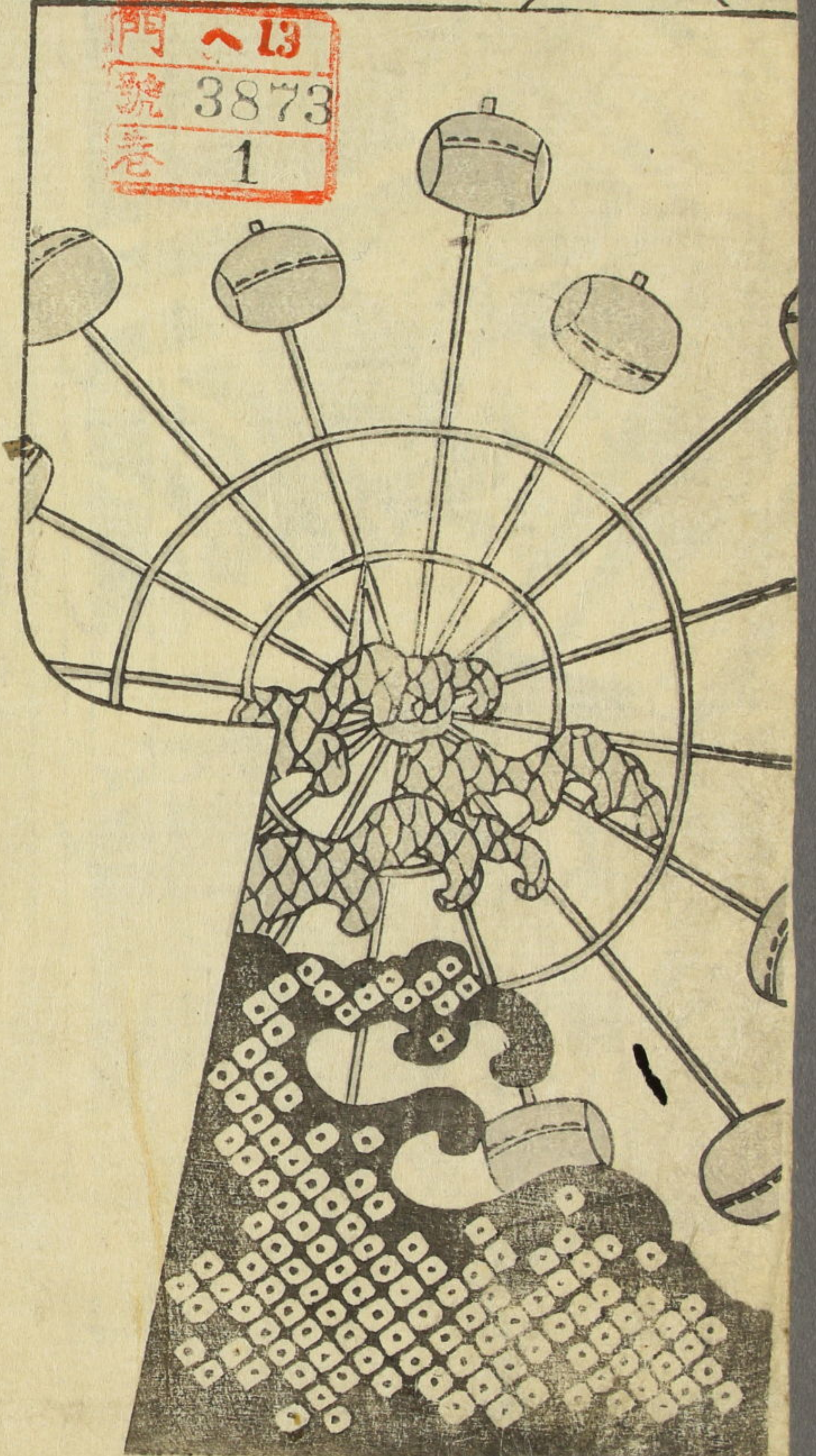
錦堂新梓  
新堂錦林



~ 13  
3873  
1



門 へ 13  
號 3873  
巻 1



せんをきりあけく城をくま後世のひる形

天保辰年  
新版 乗合咄

柳下亭種員作  
一勇齋國芳画

自序

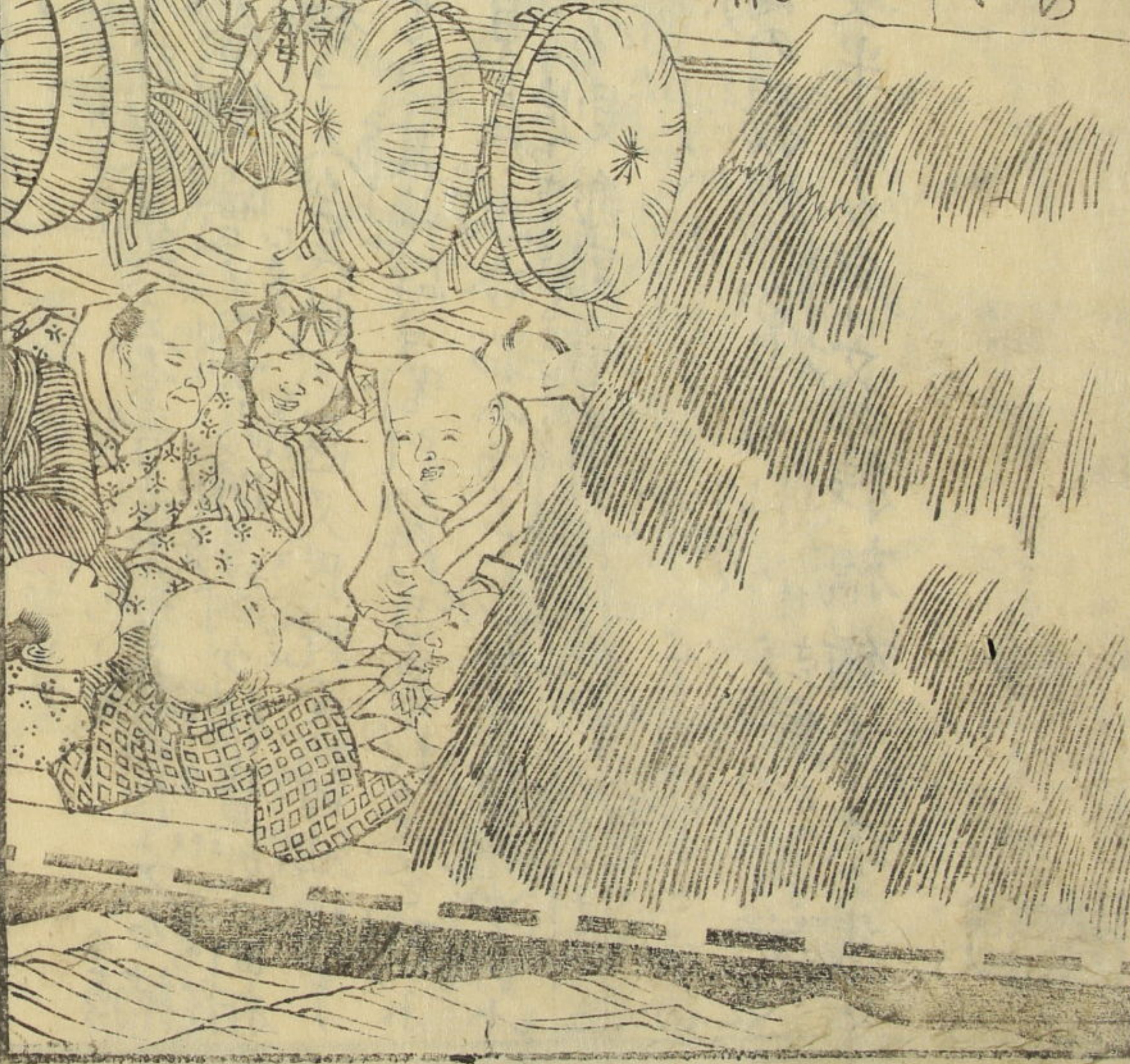
夫佛説の譬言喻品あり老莊從來たるを昔とを智者のたとふを楠  
明勇者のたとふが朝比奈樊噲美女の譬言論が揚貴妃小町相  
馴たとが比翼連理で不和ととふが呉越の思又巴蛇を將曹油樽子  
譬言喻の雷電ふたとふをり其他譬言論れおほき事たとふを取ふ  
物もあつて稗史をたとふ見よの乗合船ふれを似たり版元ゆといふ  
船病あまの作者と画工と則船頭官看ハハのり何といふ  
とふ岸と離今と昔と漕出く行川筋の違ふとも目當とよは  
る五常の近道忠孝西の揚場あり僕拙作を抄のよの海  
乗合咄と外題を号此半丁が序文の棧橋借本文の燈を  
とくく召や船軟々々

天保十五甲辰孟陬發行

柳下亭種員



本文よりとめりつゝいふに、ていふらん  
 不とていふに、このこととあるが、けんを  
 るのあはれおぼえ、この人おぼえ、けんを  
 とつゝいふに、いふに、いふに、いふに、  
 とつゝいふに、いふに、いふに、いふに、  
 ちよもあつた、あつた、あつた、あつた、  
 たけいふに、いふに、いふに、いふに、  
 ちよもあつた、あつた、あつた、あつた、  
 つかつた、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 とつゝいふに、いふに、いふに、いふに、  
 のりあつた、あつた、あつた、あつた、  
 せかえおぼえ、あつた、あつた、あつた、  
 ちんせつ、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 あつた、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 やういふに、いふに、いふに、いふに、  
 えんせつ、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 きんせつ、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 ちんせつ、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 あつた、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 ちんせつ、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 あつた、あつた、あつた、あつた、あつた、  
 とつゝいふに、いふに、いふに、いふに、



今とせんちやうやく、この人の  
 ぶひのつれくさか、この人  
 やんぐとのとちめ、この人  
 まさか、この人  
 ろんげ、この人  
 ひと、この人

だ、この人  
 まつた、この人  
 ついん、この人  
 あつた、この人  
 やんぐ、この人  
 まさか、この人  
 ろんげ、この人  
 ひと、この人

つゝいふに



かしのぎのあまよりの赤へたを  
 木とけゆく牛のあひへりて大付  
 あつたのまじりのこゝろあひてあつた  
 やくふたぬをえんあひまの  
 さけることおちた  
 なることこれをひたさ  
 山ふくまるとまゝひたさ  
 大地のべんまゝひたさ  
 じのれそとこれあつた  
 うごれぬやうふたさ  
 かのりのまの  
 下へまを  
 あくかやゆれあ  
 牛のあまよりのあ  
 またなわらうを  
 まらうの月あを  
 のあまよりの

かしのぎのあまよりの赤へたを  
 木とけゆく牛のあひへりて大付  
 あつたのまじりのこゝろあひてあつた  
 やくふたぬをえんあひまの  
 さけることおちた  
 なることこれをひたさ  
 山ふくまるとまゝひたさ  
 大地のべんまゝひたさ  
 じのれそとこれあつた  
 うごれぬやうふたさ  
 かのりのまの  
 下へまを  
 あくかやゆれあ  
 牛のあまよりのあ  
 またなわらうを  
 まらうの月あを  
 のあまよりの



下よりつ  
 よよめ  
 こころの  
 こころの  
 こころの

暴作 聖人  
 をあまよひて  
 老牛と世良

牛の膏とてその  
 子不むあひの  
 そのとれをえのたひそ  
 あまよひて  
 まらうの月あを  
 のあまよりの



ついでに...  
か...  
...  
...  
...  
...



左の...  
...  
...  
...  
...  
...

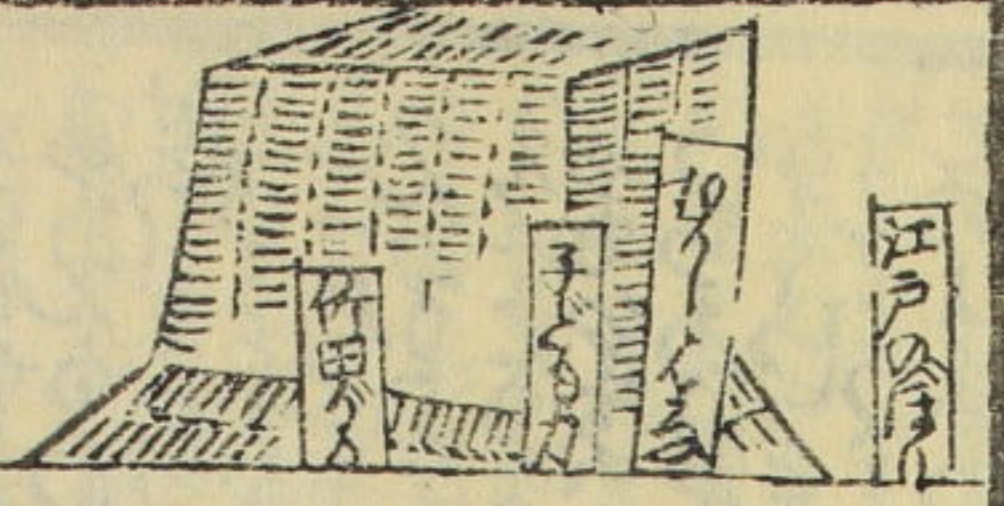
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...



...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

川原の体  
花 四條



出雲の  
小國

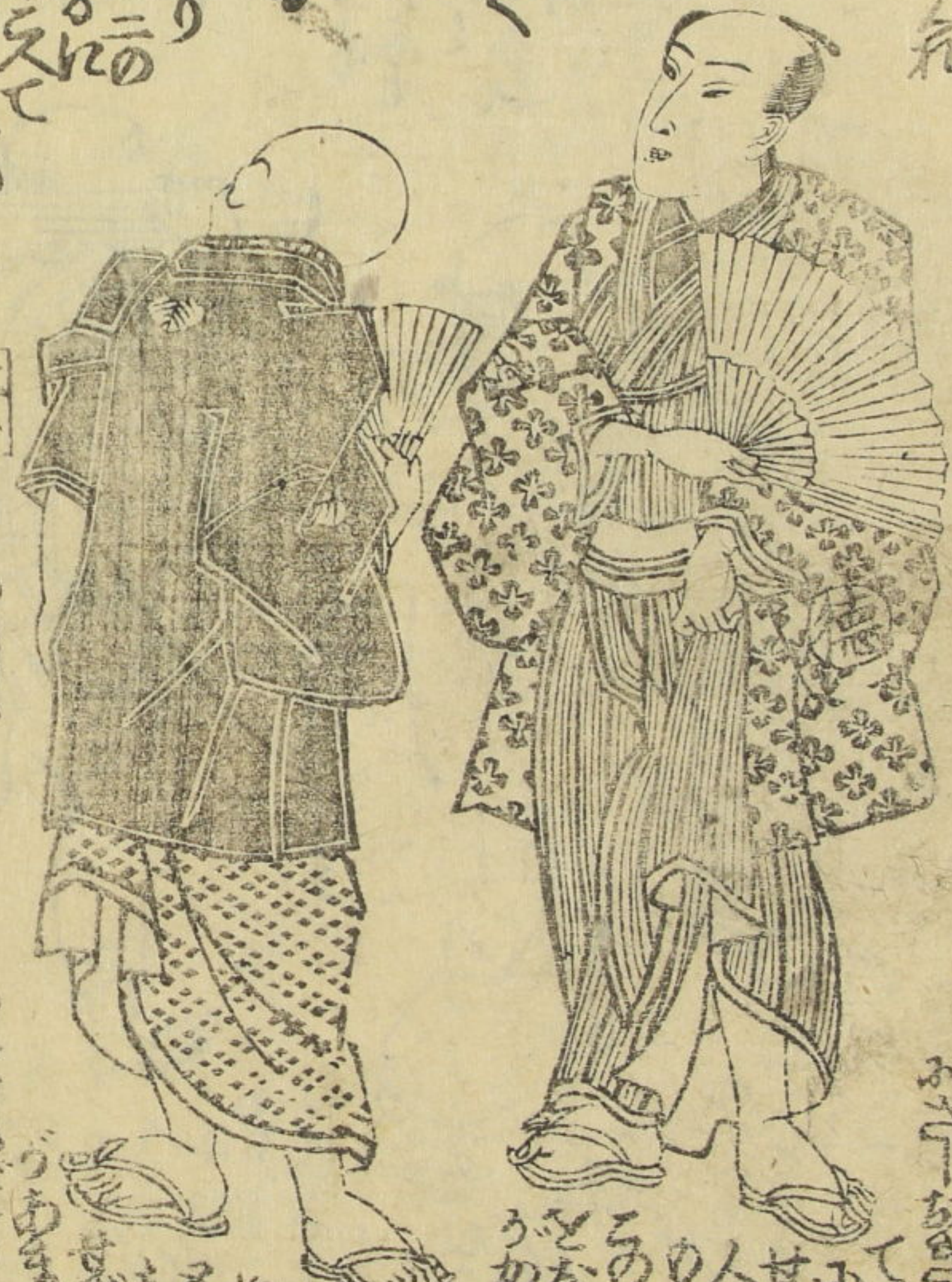


江戸の町  
上野  
下野  
湯島  
新橋  
芝罘  
大塚  
池袋  
有明  
品川  
大塚  
池袋  
有明  
品川

前の画より  
十二年  
町

右の下へ  
あつた  
さき  
あつた  
さき  
あつた  
さき

ついでに  
あつた  
さき  
あつた  
さき  
あつた  
さき



有田屋徳石門  
左の中へ  
あつた  
さき  
あつた  
さき





此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり



上の中  
 下の中  
 右の中  
 左の中  
 此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり



此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり

左の上  
 右の上  
 此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり

此の事なり  
 前の事なり  
 此画ハ小國ガのり  
 此の事なり  
 前の事なり





天保十五年甲辰春新板日録

勸善懲惡

乘合

啣

前編柳下亭種員作

六册一勇齋國芳画

同

二編

編

近刻同

同

同

萬應齋英泉画

萬應齋英泉画

萬應齋英泉画

萬應齋英泉画

幼童

面白けり

柳下亭種員作

大嶋臺猫嫁入小種員作

浪の鼓大物合戦小種員作

玉

玉

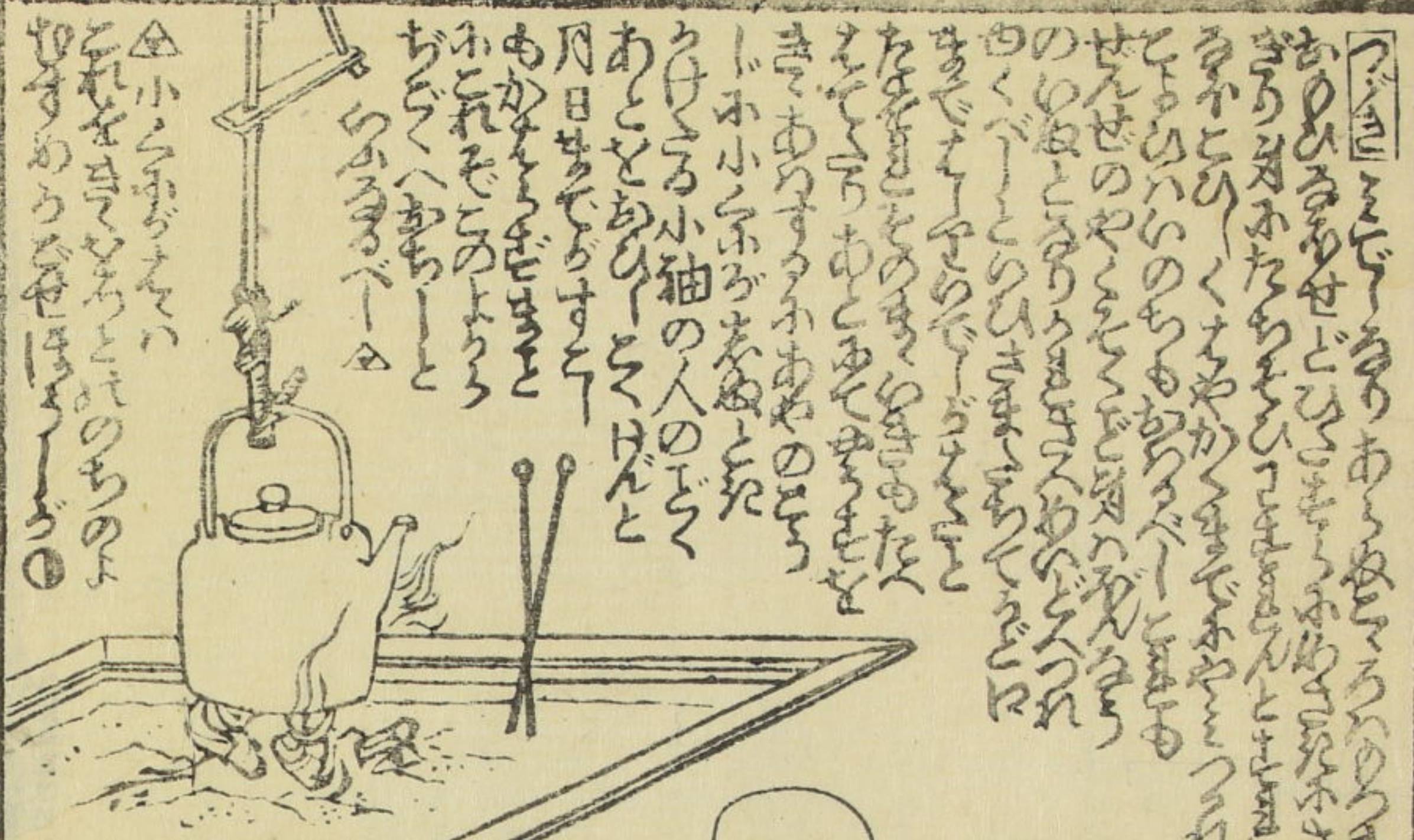
版

江戸宝町二丁目繪師木屋九兵衛

元

神田鍛冶町二丁目太田屋佐吉

〇〇〇



Small vertical text annotations next to the teapot illustration.



種員作 國芳画

Small vertical text annotations at the bottom of the illustration.

